一日題の戦地派遣等はますます ・ 田盛となりつゝある模様であ ・ なが、全般的に熱が冷めて来

まに日支間題につき論議を観 はした中國首席代表北平大學 被授胡適氏は廿八日午前九時 ジャパン號で勝國の途次來朝 とした

明年度豫算の實践にともないな情政策の圓滑なる運行をはかるため金融全般の改革につかるため金融全般の改革につかるため金融全般の改革につかるためを強める必要を認

射撃を敢てせるに端を強した 附近においてソ軍が越境不法 二十六日東部國境方面張殿英

司令部發表一

左の如し

の後の詳報

綏遠軍

義捐金募集を中止

學生

級東事件の推移と並行するもの故樂觀を許さぬと のみである、なほ太原における對日空氣は幾分緩和の狀況にあるが最近では根據地とするは明かであるが、現在のところでは太原に中央飛行機一機ある設中だがほとんど完成したこと明かとなつた、これ等の飛行場を中央空軍の設中だがほとんど完成したこと明かとなつた、これ等の飛行場を中央空軍の設中だがほとんど完成したこと明かとなつた、これ等の飛行場を中央空軍の設中だがほとんど完成したこと明かとなった、これ等の飛行場を中央空軍の大工事中で、このほかに省當局は大同、汾陽、五臺にも飛行場を建て北平廿七日發國通〕太原よりの情報によれば、同地飛行場は最近警戒を嚴重

同、汾陽、五台にも

勝に

新京小校工艺店出版的 學所於 滿洲 拓務愈よ着手

大昌

移民

新京

出張所も擴大

【東京國通】 豫算閣議の決定 三年度において拓勝省は昭和十 三年度において滿洲移民費四 百九十八萬圓を承認され、五 ケ年計畫十萬戸移植の第一次 計畫事業として六千戸の大量 を成の實施に乗出すこととなる でが、昭和十二年度以降十 十十十十十集 計六五四三二県 年年年年移民

七〇二〇五一五自由移民合計

四西省で飛行場新設

太原の飛行場は擴大し

中央の空軍飛行地

るものとするはずである 係の権威者を網離する権威あ 係の権威者を網離する権威あ

閣議決定人事 (二十七日) 閣議決定人事 陸軍主計監 山本 昇

全般にわたつて審議する政府ならびに操作をも含めて金融

夜間突撃を敢行

軍を撃攘

張殿英の衝突

敵の損害甚大

發)

二十九日發大

がよく挨拶をして置きませう

齊は離に悲痛な色を学べて

三)

上最級製國英

同

2

新京驛貨物員を命す 安東驛貨物員 滿鐵辭令 7

上海在勤被仰付 河相

月

とに決定した

苦しんである夢を見てあたの はをの人の遺訓を奉じて悩み でしんである夢を見てあたの ーー自分はまだ。その遺訓をその人の前に跪づいて聽いてゐるのだ……家を興せ、不幸な妹を愛せよ、まだ見ぬ不幸な妹を愛せよ、まだ見ぬ不

をは「大田 ないでは、これ等大量を 植民の質施に伴ひ中央機關と しては拓落局東亜課を擴大し て二課となし、移植民送出事 京出張所の機構を擴大し勅任 自分はまだドイツの太學にしてその前ふ遙に、青磁色のたったが見える。そしてその前ふ遙に、青磁色のラインの流れが以見える。それが大見える…。白いベットの上に横たはつた病み蓑へた父の姿、その人 光りに立て(四)

見にやりませう』 さうにいった。

れるまでは、 金田は途切れ途切れに、外を見るさ、獣つてコソノ 來會者の人達も、 あなたがここへ來ち まだ來て 苦红 號

二百十

ある 之

致し

き

地

の宅から、母のこさで

業か

し都 70 日 K 五盛 ケ運 び年に 位か 0 b 此

五 周 記 年

日五十月二十めたす申め納おに內年は約豫御 すまし致とり限

す節を數手の用無めたの製特價特 さ下けつし申御て「キガハ」りな話電は命用御 すまげ上申ひ伺御ぐ直ばれ

願 S

八 品上最級製產國 品通普

丁三町 士 洋 服 番七六七四(8)話電

今後五ケ はい 年間

るるにより支持するにより支持するにより支持をしまり支持すると、もこ公本のであると、もこ公本のであるのである。 をは決してない

九八〇

退ッの

の代表出席せば伊は聯

齊は冷鬱にいつた。

まひます!」

死んでし

『そんなこさ**、**

帰盟政ツ委員會に舊スペイ

つてやつといちや如何 いためつけたらしいが思ひ切 ・ 報答

金田はまたさういつたが、金田はまたさういつたが、

「何ですか?……」 った。 った、私を抛っておいて でこへあらつしやるの?」 彼女はむつくりさ起き上っ た。その眼は血走ってゐる。 『あなたも脈瞳へかへりませ

の日く

こんなもの気にしてゐてはだ

H

(天津十七日強國通)内蒙軍 は百靈廟事件以來土氣ますま もの多く約二百の蒙政會役人 の如きは二萬圓を献金し出動 を徳王は日獨防共協定の發表 を徳王は日獨防共協定の發表 を徳王は日獨防共協定の發表

テに開かれた太平洋會議に出て東京國通1 去る八月ヨセミ

十七日全聯邦ソート氏は短東州

が 種東の 情勢に 一人民委員會議 一人民委員會議

には最初の貨物列車がモス 線はつひに完成し二十六日 では最初の貨物列車がモス

完璧が期されたわけだ。ト極東州の軍備はいよいよりなイエットでは、かくてソヴィエ

▲泉瀬郎氏(會社員)二十七 日來京ヤマトポテル ・ 本秋野公願氏(同)同

新京老松町四

着

京

彼はさう答へて、金田の去

さうお願ひ

下へ出やうさした。

華代子は鋭く叫んだ。

事

・ 定内容を傳達し鼓舞激勵した と欣然と語り、内豪軍に同協 と欣然と語り、内豪軍に同協

日獨防共協定の報に

意氣軒昂

綏遠の剿匪指揮に着手

金融協議會設置 閣議で決定

来の特別金融制度調査會を廢して新たに金融協議會を新設は官制を用ひず、閣議決定をもつて設置されるものであるしかし同協議會は事に金融協議會を新設

揮に着手した 地に着手した

政府は尨大なる

ア横斷

線完

備盆々

いて左の如き重大説明をなじ において将来の財政計畫につ において将来の財政計畫につ

は今後五ヶ年、即ち昭和十 に至る見込である、尚ほ公債 設行は大陸十七年度は八億 風程度といふやうに十七年 に至る見込である。 高は公債 にである、 高は公債 に一七年 にである。 に十七年 にでし、 のは公債 に一十七年 職相語る

東京図通)拓绣省昭和十二年度豫算左の如し(草位千國) 線額 二四、〇〇〇 (内、新規承認額九二九〇) 新規事業中主なるもの 一、南米地方移植民及死殖 事業費 二、五四〇 一、南洋地方經濟提機方策

十二年度豫算

地氏(吉林鐵路信) 地氏(吉林省公署教育 大郎氏(権樹縣長)同 大郎氏(権樹縣長)同 大郎氏(権樹縣長)同

新京空前の復選期待 の兆、雁影日に減り来年こそ

毎日』を握って、華代子がかけ込んで来た。 はなは今まで他人の前できる。 部屋へはいると、

き、みんな國民派の宣傳です 『嘘です!嘘です!こんなこ

、伯父も一時の怒りでなこさ、いつてはいけ

= 4 回 2 n 0 0 た、何 0 製 0 表 用 付 提た さ を 3 E

(=)

電信、電話線

大いて九時者急行列車が約三時間選 新京保線區では二十八日も午 大方者急行列車が約三時間選 が定九時七分新京着、七時十 がで九時十十二分到着 りた、十七日金州に立往生じ たあじあも十八日は豫定時間 が高大の雪を郊外に運搬して たあじあも十八日は豫定時間 あるが構内だけでけふ一日中 たあじあも十八日は豫定時間 あるが構内だけでけふ一日中 見込みがたゝね のるが表方である かゝり明二十九日は興安橋附 新京驛構內

者である孫は舊正日 孫化 南 (二八) で腹

妻から説論願

に待ち受け金の半分を寄起すものゝ張の歸宅を溝子岸路上ものゝ張の歸宅を溝子岸路上 本籍積濱市中區山王町二ノ二 四地では河白くないから満洲 に雄飛一族擧げでお前も呼び 少とは樂をさせるからと永年 生活苦を共にした妻を残して で捨てられたのではないから満洲 で捨てられたのではないかと 不業某組に居るから設論して 本業某組に居るから設論して 大寒某組に居るから設論して 大寒某組に居るから設論して 大寒、大いかと

連轉を中止中のあじあも

豫定通り新京發着

煙を吐

司長卜居

參事官更任披露

御希望の方は御來談下さい

領事館構內十八號官舍

英

之

昭和十二年度

女中至急入用

財田氏は語る 内地では媒題防止に對する 大大きいのですが あるのですが での建物が此の での建物が此の をか大きいのですへ寫虞は とが大きいのですへ寫虞は とが大きいのですへ寫虞は とが大きいのですへ寫虞は 任披露が十二月一日午後六時前駐滿大使館参事官澤田廉三氏の更 附した
動を新京商業學校父兄會に寄 海治氏は亡見忌明に際し金一 客 附 市内入船町志田 テルで催される

貸

北安南胡同六一二號和東、八壁、八壁、八壁、八壁、八壁、八壁、四壁中、一〇八號

八島道二十八東拓內

電話(3)四人〇九番

新京聖公會

ト居、電話は二の一九二五番京特別市東朝陽胡同二〇二に 業部總務司長岸信介氏は新

お待ち無れの

金州新澤庵小樽請賣出し

支店

係は云つて居る 係は云つて居る 等を支拂つた場合は一鷹店へ者が多いから外交員に洋服代

日本メソデスト

曜日祝祭日其他の休日及其前日

牧師 吉林の銀線

詳細は左記へ御問合せ下さい

スキー場には貸スキーの準備有

新京驛電3三二七六

ピューロー最の三三九三

三人以上二十名未滿

五割引

業務員急募

國恩感謝

來聽自由

三、傳道會午後七時代場所室町ニノナ七ン來聽代場所室町ニノナ七ン來聽 水道凍結

入船町田七二

3 累立林田

速時出張修理は

院買明日公告

煉瓦造亞鉛板賽二階建

五〇平方米四七 四六平方米四〇 五〇平方米〇七

認公 速迅切一极取 活即時金 記記 の で る 常社 へ 11



初京商業生 飛行場の除雪 雪中行軍を効果的に

を を は に 陷つて あるを 関き遺憾とし の た 場が旅客機の發着ともに不能

オーバ泥頻々 オーバ 泥頻々 金目の防寒具の盗難が頻々と あるので新京署でも厳重警戒 犯人の逮捕に努めつつある中を廿七日またも午後一時頃電 を曾世營業課長古城氏が課長 室に置いた茶玉羅紗毛皮付債

軍人會館に於て郵政管理局長 の業務に關し協議するため來 る十二月三、四日の兩日日滿 會談を開催することとなった 會理事會

▲本紙讀者優待映畵上映、帝都キネマ す(二十九日) 段試合、午前九時、

H ・これだけは他ホ

28日 エロ?グロ?珍?是非か見と 第一日 ・音樂部・演藝部總動員・第一日 ・音樂部・演藝部總動員・ 本いづれも驚くべき傑作集デスゾ 寸ないデス・

世界一九三六 世界一九三六 ク・ゴウラウンド 大放送

積 Ξ 文省 館堂 館

其他各社 有各 名種 行

新京銀座 H

電話(3)二二五二番

一、場所 三笠町四丁目五番地ブバー、間取 六疊、三疊、炊事場、水洗一、間取 六疊、三疊、炊事場、水洗一、間取 六疊、三疊、炊事場、水洗一、電板 一、大疊、三疊、炊事場、水洗

事件も漸く解決を告げるに至しられたものである十か月を經た今日さしもの難しるるところを惡運 コンディション上々

新京教化聯盟主催の恒側『國恩感謝國旗掲揚式』は十二月 一日午前七時から新京神社境 内に於て擧行されたが當日は 郵政管理 局長會議

、履歴書本人持參本月中來談、宿舍付高級優遇す(要保護人二名) 百の出町二丁目四番地(韓標內正門前)

●明くて感じのよい おきなの奥茶 おきなの奥茶 ●御進物にお茶菓子に!

電話(の) 三七〇三番

ムキー場便り第一報

令の山は招力

大連、奉天、新京は今朝から

認スキー場に

満洲國体協で指定

行洋村西

順氏に代る新理事長には満洲年後五時散會したが、高橋康年後五時散會したが、高橋康

情を仇に

品裔。村

はれて居たが忠實に見えるので本年始めから外交の方に主はされた者であるが本年五月

東半島一帶を襲つた大

が道が凍ります

家庭で御注意

劍道昇段試驗

森野の日記

あず商業で

侍從御差遣

七百九千四

来式に于侍從武官を御差遣あ郷處第五期日系軍官候補生卒皇帝陛下には二十八日憲兵訓

炊事場を温くすること

來た、水道係ではこの

を来京特に機範の型を示されたは當日は剣聖高野範士が能力とは創聖高野範士が能力とは剣聖高野範士が能力とは常日は剣聖高野範士が能力をは常日は剣聖高野範士が能力をは高い、一つのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmの型を示された。100mmの型を可能した。100mmの型を可能性では、100mmの型を可能性では、100mmの型を可能性では、100mmの型を可能性では、100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能性では100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmのでは、100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能した。100mmの型を可能しは可能した。100mmの型を可能しはでは、100mmのではでは、100mmのではでは、100mmのではではでは、100mmのではではではでは、100mmのではでは、100mmの の劍道昇段試験は二十九 和十三年度日記を取

> 日の入出 最高等下七度三分後 四時三一分後 四時三一分

者優待割引

券

讀者優待割

失物は注意

新興大泉「新月抄 帝都キネマ封切

優待割引券を御利用下さ 月田の時代劇 綴つた興味深い作品であるされた一醫師の脱獄手記を宮の罪で岩窟の奥深く幽閉

新興京都が伊藤、溝口兩豆匠 のアッシスタントたりし新鋭 のアッシスタントたりし新鋭 のアッシスタントたりし新鋭 のが成。に新境地を拓いて近 質益々好調の依田養賢のシナ り 和んで在來の時代劇映畵に り 組んで在來の時代劇映畵に

术

力

主 演 1 ラ

コン

フランシス

エク

フランク

助

給配畵映寶東·作特 L·C·P



一半一△個六四 個打個十△等等 三二一 △一△等八夫木 等等等 等箱十×等婦炭 外△二ケ鏡枕一 珈醬特 五十等ツーー俵 琲油撰 名等女と個組△ セー白タ盆下杓△△五 ツ斗米 オー駄子九七等ル枚一一等等清 一△足組スベ酒 差石硯一琴打

景品 ト入一目り後の

し鹼箱個一△

で何をあるなりでは、 一るすとある年をある年を の本のでは、 の本のでは、 の本のでは、 のでは、 ので 援にに日華とのに月御致抽、番、御日一 支し籤三組自支に日 持まを十を祝援隆を のし以日編のに盛以 程たて '成意依をて

左十上をる見開記二映表もつ館

景月す明のゝ三

一世三二(2)話電

八大〇二(3)話電

秋をはねる剣で日、黎明の 龍上 て津伊江新 %たる出絶快紹 門の雄姿の再 伊賀上野鍵屋の でなり で変東國太郎・

快再 屋・・ 絶現 が 親歌 す 3 台 は又 わ五

れ郎



光出 1: יי る末作は隕空、速 何石遙 3 3. のを様ユ 百る 口萬白 3" 3 る科! メ料い 感學サは 乡秒夜 激経ル何 ガの獵 激和ル物力り風 戦篇が怪球速の 三物に度街 こ然六、贈のに 恐も年そる透閃 怖卷度もラ明く

10 で度もフ明く 開 充よ超のウ線光 ちり弩正ム!線 た卷級体大天!

○昭和五年に於ける業者は日 ・ 本人側四十七名資本金合計 ・ 本人側四十七名資本金合計 ・ 本人側四十七名資本金合計 ・ 本人側四十七名資本金合計 ・ 本中資金港の元にして主として ・ お中資金港の表の工業の名 ・ 本中資金港の表の工業の名 ・ 本中資金港の表の上、生産 ・ 本中資金港の表のとした生産 ・ 本中資金港の表のとした生産 ・ 本のの表面に ・ 本のの。 ・ 本のの表面に ・ 本のの。 ・ 本ののの。 ・ 本のの。 ・ 本の。 ・ 本のの。 ・ 本のの。

八順にして日本、朝鮮、支那のである。

上海為替

替

場

11五次、0

銀市

カルカツ タ 減 袋 一九一大公園比 一六一 留比 一九八 留比 一九 一次 一 田 比 一 一 一 五 一 出 出 か 一 九 八 留 比 一 元 一 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 二 二 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 一 九 留 比 元 分 五 五 二 四 出 比 元 分 五 五 二 四 出 比 元 分 五 二 二 国 比 元 分 五 二 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 二 国 比 元 分 五 元 日 い

洲煉瓦工業

0

沿革と新動向国

しかるに大正九年春頃より醸成されたる財界恐慌は建築界の沈衰狀態を生じ為めに煉瓦 工業も不振を生じ、かくして工業も不振を生じ、かくして工業も不振を生じ、かくして工業も不振を生じ、かくして工業のは事業中止するに至り、

當時日支帽架者は十数萬圓を 総出して共同販賣により統制 経済の立案を爲したが終に査 本關係より實現に至らなかつ

較七〇三二四八

四三五二四七五七五

| 排込を成し得るや否や疑問に の調査の結果経済的に行詰れ

B街水道消火栓改薷工元、00 原 組元、00 原 組元、00 原

各社の年内 增錘制限見越

び貸出は大の如し でこれを前月末の財政部調査 1九月末現在にお でこれを前月末の | 中国の「六〇、MO国国 | である | 一本 | である | 一本 | である | 一本 | である | である

九月末調査、貸出は五億九千 上せるものは平齊、齊北、 謝河、京白、奉吉、平梅、 連京、松花江河筋、低下せ るものは京圖、拉濱、濱北 濱洲の各縣である 件の化學分析成績は左の如一理化學試驗室の南滿大豆百 灰含蛋脂、灰含蛋脂水、含蛋脂水、水白 無 水白 無 水白 免疫質肪水分炭質肪分水素 物 素

を示し向も翌里/ 北支向荷動きは依然停滯を練 け荷捌け不良、大連に於ては は荷捌け不良、大連に於ては から、相場に漸 落を辿り、至極不振裡に越月筋の賣進みに、相場は益々低筋の賣進みに、相場は益々低が悪の場を出廻るあり、手持 十月新京の 土建材料市況

斷然在來種を壓す

事となった

十月中新京に於ける土建村市 大連村料も大口の商内は殆ん となく、地場小口物のみとな つた。木村類は需要減退の折 が、変行概して良好にして、出 り、変行概して良好にして、銀 の諸材料は密氣襲來の關係もあり、 強力の幾分値上りせるを初めと して何れも馬騰氣型を示し、鐵材類は の諸材料は密氣襲來の關係もあり、 の諸材料は殆んど不變保合の は、大阪國通』 紡績聯合會では 地に、大阪國通』 紡績聯合會では 地に、大阪國通』 紡績聯合會では 地で、大阪國通』 紡績聯合會では 地で、大阪國通』 紡績聯合會では 地で、大阪國通』 紡績聯合會では 地で、大阪國通』 紡績聯合會では 地で、大阪國通』 紡績聯合會では 地で、大大統の年内・日東 を進めてゐる、かくて十二月 は聯合 會事務 中の母鍾は實によると、十一月 を進めてゐる、かくて十二萬二千錘 中の母鍾は宣に達し、また本つ となり、十二月の推定地で、また本年 となり、十二月の推定地で、また本年 となり、十二月の推定地で、また本年 となり、十二月の推定地で、また本年 を進めてゐる、かくて十一月 を進めてゐる、かくて十一月 を進めてゐる、かくて十一月 を進めてゐる、かくて十一月 を進めてゐる。からで、各社の年內母鍾 となり、十二月の推定地で、また本年 となり、十二月の推定地鐘之、また本年 となり、また本年 となり、また本年 となり、また本年 となり、また本年

行銀隆正

頭頭 安田善四塊

ユ

決定工事 ◆普蘭店電報電話局倉庫及姆 新設工事 一千四百四十圓 景屋 與吉 景屋 與吉 景屋 與吉 景屋 與吉 景屋 與吉 大千六百九十圓 芒札 六千六百九十圓 土 筠 會

の短 できるのの を が なっている (短 地) できるのの できる (短 地) なっている (短 地) なっている (近 地) なっている (短 地) なっこう (近 地)

▲大連為替 ●阪神日英為替 ●阪神日英為替 ●阪神日英為替 ●阪神日英為替 ス 12.00 4.25

雄秀郷本・・キート船大田のき嘆鳥の 鈴十五田山・督監二健ロ清妹姉の園祇 できる。

カース カース カース カース カース かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ 油油 新京特約店 日清製油 新京百涯街五 電話(2) 0) 九九 2ガロ ーガロ 五三

みえ、ほの母 <u>瀬主子みな路山二弘田中</u> (株計**衛行の綱安刀名** 演主子京村館憲田選

の完備 各種川売買伸が 狂犬無値免 紅状無性別所期 收容力五十頭

銀パレスおほべら棒

◎出前迅速 ぶたまり 電話(3)三九二三番 A

花あら

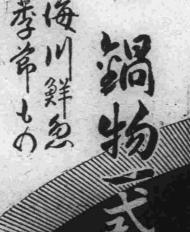
木の香も高き 冬の一夜を心ゆくまで ― 多數參りました可愛がつて下詩的で情熱的な長崎娘さんがまた ●お知らせ 改裝成れる御座敷で Ŧi.

同塩送風機室内ピット

る來寒嚴 防。 寒草履。

なるしの 御宴會は 五十人樣まで やうにも致します お引受け出來ます

楽別





7分 100、二八、四八 100、二八、四八 100、二八、四八 100、二八、四八 100、三八、元七 100、三八、元十 100、三八、二 100、三 100 三 10

セ、0人1、1一四 セ、0人1、1一四 三八、たか、人大六 三八、たか、人大六 ニカ、右木、セニカ ニカ、右木、セニカ 三、大四つ、大三五、一八、四九七、三、九三五、一八一七、五九二 1107, 242, 411 10岁、田田一、六六1 改良種好成績

大豆小麥移入量

【 岡門國通】 間島省の岡門における穀物檢査所の大豆檢査は出五日から開始されたが、出廻り大豆のうち在來種と改可、 程悪極まるものだつたが、改良種は黄色、小指々頭大の関島大豆は質したもので、これを更に乾燥して精撲したもので、これを更に乾燥して特撲したもので、そのを凌駕し、そのまゝ食用としても寸毫も差支へなき立派なものとなつてゐる 圖們輸送規定 でもつて終了したが本年度の 大豆、小麥總移入量は〈單位 大豆、小麥總移入量は〈單位

1、11七、0七二 1五九、七二〇、九五七

本年度の大豆作柄

高 高 高 間 記 后 所 合 店 行 行

大體好績示す

水豆の懸念は絶對に無

「國們國通』十二月一日より の保稅法實施を控え 岡門では を民富局が驛主催で廿五日午 ではこの集會を劈頭に做び岡們 ではこの集會を劈頭に做び岡們 ではこの集會を劈頭に做び岡們 ではこの集會を劈頭に做び岡門 研究會を常設

一、色澤程度 初期出廻品は含有水分一般 に多く調製不充分で泥附粒 多く、地域的には病斑およ び色豆の混入多く、殊に改 良、金元等の特殊大豆の色 足、金元等の特殊大豆の色 澤は幾分低下をみせてゐる が、その後天候の恢復によ り色澤は例年程度に達し得 る見込みである

國鐵京圖

明年出材豫想

石

東方八十支里冷風口にて之む)伐採地は新站を離るゝ

福定的のものであり各伐採地 を定めのものであり各伐採地 では種々準備に忙殺されてあ

奉天に於ては煉瓦販賣價格統制の目的を以て本年六月日本 し共營煉瓦株式資社(資本金 を額據込二十萬圓)を組織し 工相當の成績を示してゐるが 満人側溪業家は之に對し常に 養事的販賣政策をとり建築業 者に直接賣込みを行ひ一個七 屋五毛乃至八厘と云ふ廉價供 奉天煉瓦業 合同計畫進む

◆新京ヤマト に伴ふ優房並 海南 電三一五の九八東京 新京永楽丁八

作用三天日前場) 大經濟電報

▲大阪棉糸 大引

各地特產市况 各地特產市况 口事商品市況

1.25 5.0 2.48 7.15 2.58 2.9 家12.00 4.31 9

帝都ギネマ

1.40 6.15 3.10 7.40

滿

田

(2) 二三五四

きもち 卸小賣西 れ各種

ים

吾 電話四一三五八番

帝都 * * * * 前 物 店 の御用命は……

【貫二十刊夕朝統本】

舉兲·新京 中谷時計店旗部



の國を事實上承認 我は伊 政府當局 のエ合併を確認

定した旨確認した 日午前伊政府 も同様伊太利政府の P B伊政府が瀟洲國を事實上承認するこ共に日本政府マニ十八日發國通至急報] 伊太利政府當局は二十八 エチオピア帝國合併を承認する に決

土軍平級線を 内蒙軍

英軍の別動隊が十九日夕平綏線の破壞を敢行し、ため、張家口には西方よりる狀態となり、その金額すでに數萬圓を超ゆるに至つた、一方戰線方面は王一ケ月分の俸給を、また各王公もそれぞれ第一線の慰問金を軍政府に獻金す第二線部隊にして前線に赴くことを志願する者續々増加し軍政府の役員は約〔張家口廿八日發國通〕內蒙軍は緒戰における勝利により士氣大いにあがり 到着するも のがなくなった

般来、杉村駐伊大使を通じイ はさらにイタリーとの間にも はさらにイタリーとの間にも が洗的誤解を深めんがため過

義宮様の

經濟問題が

眼

暗協定と無關係

第一回御誕辰

政府との間に協議を續

世アにおける日本の通商上の 機益を確認することに意見の 一致をみるに至つたので外務 省ではエチオピア公使館を慶 止し新たにアデス・アベバに 関事館を新設することに決定 した、しかして右領事館の新 設に伴ふ勅令(在外公館職員

日態度愈よ露骨

本く中央黨部に對し左の如き で公園民の抗日を煽動せしむ で公園民の抗日を煽動せしむ でないと抗日態度

何により抗日の目的を達す、緩遠問題はその解決の如 又上海市

べき絶好の機會なり 整げて同方面の影鯛に援助 を與へ蒙古軍を潰滅せしめ 更に最馴熟河を目標として 直撃し、年來の目的たる失

上海市黨部は十八日附をも

一、中央の訓令により援級選」 一、中央の訓令により援級選」 一、スローガンは抗日劇題と すべく抗日を貫徹せんとせ ば須く接級運動を徹底せし むべし 外人撤退命令の

代出

號二十七百九千四第

(-)

ギー人と稱し毛布行商を装ひ 市内各所の戸別訪問をなして ある者多く右はこの機を利用 し赤化場動を行ひつ▲ある疑

石原大佐天津着

日伊爾國政府が相互に承認して、エチオピア併合の事實を

「東京國通」義宮正仁親王殿 下には二十八日第一回の御誕 皇后兩陛下には義宮線とお揃 ひにて午前十時湯淺内府以下 側近奉仕者に拜謁拜賀を受け **内親王線方お揃ひで義宮線を** 養宮線には正午御祝膳につか の内に住き日をお祝ひ遊ばさ 御中心に御なごやかな御園欒 は 職出額約一千萬圓)を有して がその時期は大體十二月中旬 の見込である、なほエチオビアに對してわが國は通商上の 相當の權益(綿布、雑貨類の

は廿七日夜大體文の意向日伊協定に關しイタリー

に参加する必要はあるのは事が進移してあるのは事関政府が反共職級政府が反共職級政府が反共職級政府が反共職級政府が反共職級政府が反共職級をには3人人の間に現在する必要はあるのは事をにあるのは事をにあるのは事をにあるのは事をにあるのは事をにあるのは事をにある。

日獨防共協定を

有効適切に利用

事官(入印)】

田新任參事官昨夜着京

招集を要求す

ス政府、 緊急理事會の

長は國際平和確保の拠地から 語に接したアヴノール事務認 語に接したアヴノール事務認 一、 叛亂軍ならびに獨伊西國 政府の行動により戰争の脅 政府の行動により戰争の脅 政府の行動により戰争の脅 政府の行動により戰争の脅 大き緊急理事會の招集を要求

府軍の抵抗案外に頑強で戦況
・ のないに対し、 のないのでは一気に首都攻略を期して猛攻撃を加へてゐるが、政

容易ならず 粉用品 本時間がない」とか「主催者が氣にくわぬ」とか勝手な動が気にくわぬ」とか勝手な動を吐いて只の一回も顔を出したことがない▼これは一つのたことがない▼これは一つのたことがない▼これは一つの

至四日理事會を招集する方針

政府意向を表明

一回の神社境内の関恩感ですることが毎日の日課

目品業營

翼東自治政府 成立 記念式典 一周年

命軍が獨力で首都を占據する

大な記念式典を撃行した、 原政府成立一周記念日にあた り入外の賓客一千餘名を迎へ を大な記念式典を撃行した、 と五色旗を復活する旨を宣言 し五色旗を復活する旨を宣言 し五色旗を復活する旨を宣言 し五色旗を復活する旨を宣言 し五色旗を復活する旨を宣言 ばならず今後の推移に異常な を御破算し新に對策を樹てね はれる、萬一イタリー政府が戦況の進展は期待出來ぬとい

闘心を示してゐる

ブリュッヘル元帥

大會に出席

日菅

一、イタリー政府はエチオピー、イタリー政府は地における日本政府の經濟的權益ならびに通商上の特殊地位を確認する。 財割公使館を撤收し領事館 オピア帝國併合を事實上承 オピア帝國併合を事實上承 【モスノワ十七日 設國通】極東軍總司令ブリュツへル元帥 東軍總司令ブリュツへル元帥 手を浴びた、同元帥がモスク ワを訪問するのは極めで稀で あるため今回の訪問は特に参 談本部の招致により日獨協定 成立に伴ふ新事態につき重要 協議を遂げるためではないか

・元師の呼び醪が高い ・元師の呼び醪が高い と一元師の呼び醪が高い と一元師の呼び醪が高い

寺坂課長歸任

事需工業人民 軍需工業人民

ママル

リン廿七日愛國通』モ

我が通商權益

の國政府

近く本格

的交涉開始

協定案骨子

「年スクリサ七日設園通」? 重大聲明

その他世界一般 との他世界一般

の三點に觸れるとみられる

【モスクワサ七日登園道】モスクワ駐割酒匂参事官は廿七日平後カズロフスキー極東部長を訪問、廿四日ソ鴻兩國間東部國境線におけるソ聯兵の不法越境につき厳重抗職した不法越境につき厳重抗職した。 マスキー部長 匂參事官から 抗議提出 越境事件 奉天鐵道事務所營業課長寺坂 売一氏は十二月一日から營業 を開始する新京保税倉庫關係 入日朝來京し、同日稻川鰥長 上野貨物主任及び税關關係者 とゝもに建築工事中の保税倉 庫その他構内の巡視を行つた 上詳細の打合せを済まして同 日午後八時設急行列車で屬任

(東京図通) 豫備役陸軍少將 郷里滋賀縣大津市で擦鍪中廿 四日午前六時逝去した、享年 六十三、同少將は陸軍におけ 兼松少將逝去

▲草場少將 二十八日歸京 局長) 同奉天から吉林〈通 渦長)同奉天から吉林〈通

所營業課長)同奉天へ り料理店主人な

製品の外御注文に應じます、何卒御下命御引立の程ます尙店内には當商會特選の優良品……豊富陳列既工場より直接皆樣へのサービスに萬全を期して居り工場が式の製皮法を以つて謹製し價格の低廉……と当時代的資源に滿鐵消費組合御指定の榮を添ふせ 伏して御願申上げます 製品の外御注文に應じます、 價ナルモノ必ズシモ良品ニアラズ

毛皮は先づ

新荷到着豊富陳列 新荷到着豊富陳列

ロンドン商會新京 丹 江間明備・タイスカ

通 知

賀候弊店儀每々格別の御引立を蒙

渉に乗出す場合にはイギリ

大同大街三〇一康德會館二六一號 大同大街三〇一康德會館二六一號 宋出張所

卒午本沼業、タタ 生徒募集

新京新發路(帝都キャマ前天後)就職幹旋す、午後、夜間(入學隨時) タイ マ前) 90 1

琴 大三 政絃 樂商 器 店 (2) 四四 ==

19

電話

入船町二丁 電話(三)五五五六番 目

新築デ 並住宅希望者求な

一、場所 朝日通り朝日座の隣最中央場所朝日デバアトー、場所 朝日通り朝日座の隣最中央場所朝日デバアトー、一階 食料品、日用品、雑貨類販賣御希望の方名望、洋服類、貴金屬、時計類、家庭道具、御常望の街十一年十二月一日 デバアト開店 住宅使用 (十一戶) (地下室浴場あり) (十一戶) (地下室浴場あり) (十一戶) (地下室浴場あり) (地下室浴場下下下下) (地下室浴場あり) (地下室浴場の) (地下面) (地下面) (地下面) (地下室浴場の) (地下面) (地

智日十五番地 雷器 多甲 = = 五治

附屬地憲兵分隊南門前

日本橋通り五四(南廣場角)

藤西の人民戦線内閣が果し 高をいるなどないならか を関であるとせねばならぬ を関であるとせねばならぬ を関であるとせればならぬ を持して直接對獨國係の調整 ではない。ソ聯と

く努めるであらう。佛昭郎にとつては英昭解のみが繰り所であった。

理由につき左の如く發表し、「理由につき左の如く發表し、「東京國通」大滅、遞信兩當

郵貯利下げ

振替制度創

本による銀行貯金利子等に 一日より實施すること に決定したが、右は來年度 に決定したが、右は來年度 に決定したが、右は來年度 に決定したが、右は來年度 とり實施されるべき税制改 が、右は來年度

リッと・ローランド博士は北スロー駐割ドイツ公使ハイン

サンオ

原動機取締

上氏市立

で通部では今回國内及滿日郵
 「月一日より全湖主要郵局で一
 海に其の取扱を開始すること
 へなつたが此の事業開始を記
 念する爲記念日附印を作り一
 なつた、其の使用方法は十二
 なつた、其の使用方法は十二

大豫算

の懸

を除く

公債發行額の

何

金融界方面

この三、四年の間はどうにか 下和を維持して行けるであらうとの見方から競してゐるやうである。その先きまでは見 がこの見方には反映してゐる と思はれる。そしてこの場合といふま情 がこの見方には反映してゐるといふことは一つの大きな注 日點となつてゐると考へられ 四割六分は軍事後第で、これを年度内に遂行することは目下の國内生産力に微して著しい無理かあるから恐らく豫第一个人が大力を要消することはなく、それだけ赤字公債發行額の減少を來すことにならう、もつ少を來すことにならう、もつとも國内資源に乏しい軍需品とも以び生産力不足分については今後一層輸入を促進すること」なり、言答、物價、國債政策上といては政府當局にといては政府當局に 学の より三十億圓突 みてゐたがけに豫算案決定に 對しては存外冷靜な態度を持 してゐる、殊に明年度豫算の 四割六分は軍事確算で、これを年度内に遂行することは目 下の國内生産力に徴して著しい無理かあるから恐らく豫算 村利率の引下げはこれを行 利率の引下げはこれを行 利率の引下げによ な事として各種の社會的施 利率の引下げによ を行ぶことを発って生するおそれあ の課として各種の社會的施 がでした、從つて今後毎 がでした。 でしては預金部貨 を行ぶことでは預金部貨 を行るでは預金部貨 を行るでは の記憶を がでした。 がでした。 がでした。 がでした。 がである。 ないでは の記憶を がである。 ないでは の記憶を の記憶を がでした。 がでし

上東主古 の注意を英望して明年度豫算案中金融界の關心は依然公債競行額に向けら (東京関通) 政府は廿七日の

税率および關税制度

大学の関連を引きる。 一学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学では、 、 大学では、 、 大学では、 は、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学

京塚 武 三郎氏は十一月一日副参事に ・ 京塚 鐵事務 局地方課長田中 ・ 京塚 鐵事務 局地方課長田中 明年度新規要求

明年度海軍豫算內譯 東京國通」 廿七日の閣議で 東京國通」 廿七日の閣議で

四、総出統制税の新設 外國貿易の進展を圖るに必 外國貿易の進展を圖るに必 要な施設の經費に充つる目 時を以て本税を創設し輸出 品中一部のものに對し大體 品中一部のものに對し大體 公に対し、 一部のものに對し大體 のを以て本税を創設し輸出

親光協會主催

座談會

を意見の交換が行れたが、國都に於ける土産品の意匠、種類 を意見の交換が行れたが、國都に於ける土産品の意匠、種類 を意見の交換が行れたが、國都に於ける土産品の意匠、種類 を意見の交換が行れたが、國都に於ける土産品の意匠、種類 を意見の交換が行れたが、國都に於ける土産品の意匠、種類 を意見の交換が行れたが、國都

座談會例會

一億五千萬圓承認

度豫算の新規要求額は二億四 ・主計局の査定の結果、一億五 ・主計局の査定の結果、一億五 ・主計局の査定の結果、一億五 ・主計局の査定の結果、一億五 ・主なる内譯次の如し

会を結成し 一、土産品組合に依り販賣品 の價格を統制する の價格を統制する る 成立の運びとなる模型のできない。 を貼付する でであることであることである。 では観光客組合加盟商 でできるで力めることである。 では、組合加盟商 では、組合加盟商 では、組合加盟商 では、組合加盟商 では、組合加盟商

鮮魚小賣相場 高十五

關稅制度の 改革要項發表



であつて次の通りである であつて次の通りである。 であつて次の通りである。 であつて次の通りである。 であつて次の通りである。 であつて次の通りである。 であつて次の通りである。 郊

11 起3四二五五

生蹴球聯盟

二十七日の閣議で決定

園) は左の如くである(單位百萬

振當決定

國通」明年バリで開

大西洋橫斷飛

心公會堂第三談

其の後でクリ

極日當良き貸住宅あり 土地家屋賣買仲介業

大經路

り其の後でクリスマス親賀會の例館は左の通りの講演があ

案

明年早々實

村青少年の

ים

真菊最 版七六 八刊 四系二頁版滿 同九一頁 三二頁 満洲農業移民の概況 0, 1110

六一 四六 二五 〇一 きん 品品 お正 本 位

或 工珍 ノサ 利

惱みある方は

電達迅速 増 田 鶏 肉 店 特別大勉强 帝都ビル横 特別大勉强 帝都ビル横 わ す な

滿洲與產株式會社

を乗せた郵船龍田丸は上 を乗せた郵船龍田丸は上 作り、サービスの大成功を収めたり、サービスといふアメリカを 副島 八 博へた嘉納翁もたせちに乗船 山 げて成功を説し合ひ感激の場 田 では一、祖を展開した、伯は上陸後直 市に自動車で入京すると」も でき相と會見、第十二回オリ マ宮相と會見、第十二回オリ リカ、ベルギー、ドイツ等が 東京招致に基大な努力をよせ 末京招致に基大な努力をよせ 大事情をのべ、諸外國との友 好關係に深く叡庫を用ひ給ふ 大島陛下にみぎ執薬方を乞ひ 活出、同會見後左の如く語つ たまで、 大會の總裁問間については することとならう、明年本 することとならう、明年本 することとならう、明年本 することとならう、明年本 することとならず、明年本 することとならず、明年本

ビ六ひ相うあ大は

機を設置するものが益々増加の傾向にあるが、これに對する一定の取締規則が公布されず、そのまゝ放任するときれず、そのまゝ放任するときれず。そのは勿論既に設置のも各所轄警察署にて特定ののも各所轄警察署にて特定ののも各所轄警察署にて特定ののものは勿論既に設置のものは勿論既に設置のものは勿論既に設置のものは勿論を関連するときは、原動機を設置する者

リノ ラバ 一一 大七

何様にも御相談致

します

御宴會の御豫算に付ては如

はカーキ色の略服に 地で立ち、内務大臣 が大選河の清流があ が上で連れたがら一幅の南端 かには上海まで が大選河の清流があ が上の過から通州城 から一幅の南端

取引所仲買人

電話(3)六二

六四

五九

天津を發って 一時間

周年記念日迎へ

異東地區を見る

電が用意され

公債株式現物賣買

遠

太

商

新京老松町十二

--(上)---天律にて

に溢れ幾多となく母子心中の 時き哀れ路頭に迷ふ母と子の 時き哀れ路頭に迷ふ母と子の

實施するか

は憲よその本来の使命に向って邁進する事が豫想されるがことつての所謂庶民金融機關たとつての所謂庶民金融機關たとつての所謂庶民金融機關たるが設銀行、無盡會社等はその新設は勿論、基礎薄弱なるものは次第に整理陶汰されるで各地金融組合並らびに輸入て各地金融組合並らびに輸入て各地金融組合並らびに輸入して各地金融組合並らびに輸入して各地金融組合並らびに輸入して各地金融組合がといるが、これに代って各地金融組合がという。

哈市國際金融部の

總局ボー

來月十五日頃か

なんと全部で五百卅萬圓

【哈爾濱】各種特産出廻りの金融部が地方糧棧に對して の金融部が地方糧棧に對して の金融部が地方糧棧に對して の金融部が地方糧棧に對して の金融部が地方糧棧に對して の金融部が地方糧棧に對して の金融部が地方糧棧に對して の金融部は先月末以來主 として預北、資洲兩沿線の奥 地各縣に於て各縣公署の保證

体育主事を配

ツの全面的向上淨化期す

たる風格質力を一段と砂塊することが出來るものと期待さ

半島の寡婦

することとなつた、右和龍縣ので、近く大々的開設に着手ので、近く大々的開設に着手ので、近く大々的開設に着手ので、近く大々的開設に着手ので、近く大々的開設に着手ので、近く大々的開設に着手

炭鑛 品

ものと期待されてみなには附近一帯のア

融統制

工 規則を來る議會に上程させん あるが大體鮮内に在る寡婦は つす として今風内地では母子扶助 活狀況を目下祥細に調査中で として今風内地では母子扶助 活狀況を目下祥細に調査中で に 悲劇さへ發生しつ」ある現狀 としてゐるので該規則の議會 子に 悲劇さへ發生しつ」ある現狀 としてゐるので該規則の議會 子

等に僅か四十ヶ所設

金融組合の組織強化

庶民金融機關の影さび

害を企つ 醫長等の 大連の拳銃詐

早くも一部に非難の聲あがる

大ルランド號(六 大ルランド號(六 大ルランド號(六 は大連埠頭船舶 は大連埠頭船舶 がは大連埠頭船舶 0

師三名殺害の奇怪なる計畫を 自供した、犯人中村は昭和六 年以來細菌科工手として大連 時ので森川階長その他醫員

未だ不明 未だ不明

一各驛をはじめ現場機關一齊に とび全溝鐵路局、鐵道事務所 日分といふ景気よさで總額五 地面 ナスは來月十五日前後總局お 割、雇員卅割、日給傭員四十 と 本は一人の從榮員を擁すること 本は局長、課長、参事級で本 る道 鐵道一元化の波に乗つて一躍 支給される、今年のボーナス 面道 鐵道一元化の波に乗つて一躍 支給される、今年のボーナス 面

臨◇時◇列◇車 客車增結實

十年計畫で

「八州車(十二月廿八、九の一、奉天、釜山間 急行一〇一、奉天、釜山間 急行一〇

四日から卅一日まで)へ、「ひかり」および「のぞれ」に二、三等車増結(廿)のぞ

は特に勉强致します御宿泊朝夕二食附二

島

話

新京東二條通八島小學校前

一校を完成し引續さ から公立普通各校のというないでは、これを併行していたが、これを併行していたが行していたが、これを開いていた。 田來る極めて大規という。 の初等教 満東東日浦デ新新大滿南同大同日同滿電同東滿同日同日同日滿日滿日滿川同日同大同東同南同哈同大同新同同滿同同正同朝滿三雜甲 洲滿邦本賀ィ京京和洲滿 同 本 洲業 亞洲 魯 本 滿洲滿洲本洲崎 本 阪 京 滿 薄 連 京丙乙洲 _ 隆 鮮洲分四號 ルル人ル渠ゼ倉建染化瓦 電 電 電公 煙煙 漁 産 ルエ亞麻績績造 郵 商 下 鐵 交 豆 銀 乙銀 一銀 銀國半分分 プブ造ミ新ル庫物科學斯新力新力乙々司新草草新業新業新ミ廠麻新新新船新船新船新船新衛新道新易 信新行新新行新新行新行債利利利

廣間

部屋

明年度から十 育機関の完備 育機関の完備 模の計畫である

騎兵第七團

合流匪を計伐 電系関通」第一軍管區司令部入電『騎兵第七團〇〇名は 中五日午前九時撫松縣松樹鎖で王德泰、金日成の合流匪約 四百と遭遇、大潑職の後匪に 多大の損害を興へてこれを潰 走せしめたが、右職闘で騎兵 走せしめたが、右職闘で騎兵 走せしめたが、右職闘で騎兵 を関へてこれを潰 を必要を関かる。

の見込みなる

サック・カサザル事多は一世の一百貨店

電田二四のた

「洋樂愛好家協會」全審査員が諸手大トスカニーニ畢生の名指揮ノ

RC一ハイフイデリテーを擧げて推薦した名盤ノ

錄音人

けふから愈よ かな空氣だつた

總局の年末旅客輸送陣 されたものであるされたものである。 铭 辆 省近

63

大影響あるもの となっ

さかは最盛期の 検の持ちこたへ

のとして各方面の特定取引に重

畑

涸

報現

飛配

見

逃

す

15

1

ギン狐破格大亂賣

原價提供

方勝!!

此の機を逸しては再び來らず

二八〇九〇〇

級級級

五五五

000

圓圓圓

F D B 級級級

一二三

三00

000 圆圓圆

確實なる方はボー 毛皮防寒被服 毛皮防寒被服

ボー

力

ム排

ッり

加工も致します

サヤツカ商会 東一條通田中ビル を 神の便あり カーニュー を

設

0九四三(三) 電

眉白の薬壯强兒小傳家來年百三 薬妙減腸胃・し下虫んか 键表 屋~崎 肥 店支達大社會藥電本日 馬級納特 あに店業るな主地各

御用命下され

度

電話版

六四 町 西西

四四

玉九

多

少

K

不



店





定價金拾七圓五拾錢也 と 一 一 元 氏 執筆 解説書 牛山 充 氏 執筆

イ長調



是非一度御試し下さい安い石炭を賣始めました 新京高砂町四丁 目一番地 電話三・四九六四番









KOMO KOMO KOMO K

断くして兩脚を変互に行ふ事

右足に移されて居る事は、

00 E : E

女中 ス用二十五才より 登場付 電話(3)二九八七番 と) 八、六、二疊 と) 八、六、二疊 に) 八、六、二疊 に) は いった に いった に いった に いった に かった に いった に かった に かった に いった に かった に いった に いった

三鮮水餃子

米 自 新米到着 マルデスシャ

九日(日曜日) (新京 攻送局)

八三〇時報、ニュース・信東京)ニュース、告知事項領察通報、番組豫告

五,000

・ (東京、新京)

只顔の向が反對になつただけ一寸練習もしませら。

點線の箇所を全然氷面から離

右足と同じ要領

あるが、

の男四・

かげろふの如き人生

(四)

……平均男四十四歲、女四十六歲 日本人

べて見ると、別項の如く男は平均四十四年、女は平均四 六年强といふ、人生五十年には相當距離のある數字と が、はたして人生は五十年だらうか、內務省保健課で調 と昔から相場がきまつてゐる様であ

設死亡率の低下は國民の罹病 漸次向上し 20

+"

ユ

ングに就て

(ロ)娘三題(齊州島 で、)娘三題(齊州島 で、)酸の母 長谷川伸作 での娘お宮 二葉 早苗 その娘お宮 二葉 早苗 その娘お宮 二葉 早苗 その娘お宮 二二素 一番

料令五行一四金一個八十线

大和運公配公司 問題及建築土木材料一般 関越及建築土木材料一般 関連の対象の 単備有

日寒內

古物 電(2)四回の七 北八古物店 電(2)四回の七 北八古物店 電(2)四回の七 北八古物店 電(2)四回の七 東館西隣 本八古物店 電(2)四回の七 東館西隣 本八古、電(2)四回の七 大したし東

金融日掛る数

和 洋行

定

1チング・

旅館

衛生思想の普及してゐぬ證據 粉と紅で補ふ位で十分ですが 車中で夜を明かした時は、朝 って洗顔やお化粧をするやう なことはやめて、コールドク りームで汚れを拭き取り、粉 自粉で手早く仕上げておく程 に泊つた時

方は味噌一に對し煮出

か特に高いこれには剝いたものを買ぶより殻に入つたままのを求めて、面倒でも自分で剝いて使つた方がうまい

お前の でのば 味噌を適當の濃さに煮出汁

つた程度で食べ

野一番目に出て ウワード・、

多の夜寒には是非一家打覧い をどんなにしみじみと幸福に をどんなにしみじみと幸福に をがあなにしみじみと幸福に の素で少し濃い目に味をとい なべを空焼きして鶏の脂肪を

もので

んなん、卵などを

のましたら、次の方法に依つ(内側)の滑べれる様になって、の側)の滑べれる様にない。 右脚の

でする者は勿論の事、 でする者もホッケー でする者もホッケー でする者もホッケー

にターンしてしまひ たに動す様にします 、先に力を入れ、左角 、大に動す様にします 制新国洲滿

にカープし、左の足はと、右足は自然にインと、右足は自然にインと、右足は自然にイン

、右肩は前方へ、 力を入れます

より一層、

師所第一部ビルニ十六號室 師所第一部ビルニ十六號室 師話簿名義其の健仲介謝紹 記述の世中介謝紹

帳簿專門

三笠町三ノ九町8三三三四番

三省堂製本所

等三独教水务方

生田流當道會

お茶を茶道具

White the same

みどり茶園

電話3四七七〇番

東本しげの御姿 心せはしき ・ 本もあらばこそ ・ 大もあらばこそ ・ 大もあらばこそ ・ 大もあらばこそ ・ 大きな ・ 大きな ・ 大きものかに関の ・ はかなきものか定めたき ・ とる如く聞へては とる如く聞へては とる如く聞へては とる如く聞へては とるがなきものか定めたき 世 ・ ともいたまひ ・ とも知らず落人の 群に ・ とも知らず落人の 群に ・ とも知らず落人の 群に ・ とも知らず落人の 群に ・ ともかなきはれて 七堂伽 ・ ともかなきものか定めたき 世 ・ ともいたまひ ・ ともいたさがなきものか定めたき 世 ・ ともいたまひ ・ とものがためたき 世 ・ ともいたまひ ・ ともいたまひ ・ ともいなきものかにめたき 世 ・ ともいたまひ ・ ともいたまひ ・ ともいたまな ・ ともいなきものかにもいたまひ ・ ともいたまな ・ とものがためたき 世 ・ ともいたまな ・ ともいたな ・ ともいな ・ ともいな ・ ともいな ・ ともいな ・ ともいな ・ ともいな ・

さかる。さかる。

・ (第五圖参照)

道を 貫一文字に 天に冲して

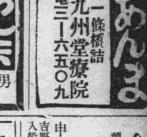
第一徽兵保險新京出張所 新京東五條通一三 女中入用

電話3二〇七九信楽舎文章立案、 タイプライタ間

貸事務室 爾(8)四九五八

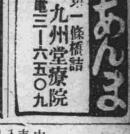
■(3)四|六二 ■(3)四|六二

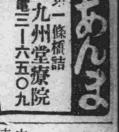
第二十六五〇九 九州堂療院





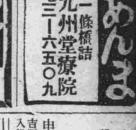


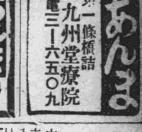




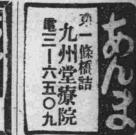


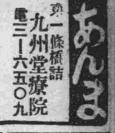




















東三馬路無線電流下東三馬路無線電流下

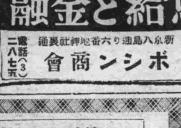
で會へ

新京東三條通模 上 田 商 行 配(3)4 52 8





電(3)三四六〇番







電話と金融 寶寶



呼號(3)六四六七番(今井新京吉野町五丁目本通り

タイピスト 野隣タイプライテング教授 中前、午後、夜間 朝日通り八十一番地 遠領事館前 千歲九州行近道十二時發 九州行近道 榮昌 5一株式會社 数三七七五(3)電五ノ三町船人京新 社八會 式 株 融 金 和 昭 七七 四雷八街道六國外機爾哈店麦

新婚旅行であるからとて、 ・ を持つて行つたりするのは ・ とです。その他に忘れてはな ・ ちないのは、ホウ砂を持参す ・ ちないのは、ホウ砂を持参す ・ ちないのは、ホウ砂を持参す ・ ちないので、そのまれてはな ・ ちないので、そのまれてはな ・ なることです。温泉等は硬水の ・ ないので、そのまれてはな ・ ないので、そのまれてはな ・ ないので、そのまれてはな ・ ないので、そのまれてはな ます。 りませんが、斯くする事に依

では、若く初々しいだけでなく に、若く初々しいだけでなく に、若く初々しいだけでなく に、若く初々しいだけでなく に、若く初々しいだけでなく

曲左中走滑進前 圖四第

引きが、 强ければ 强

に乗じて徳川の 流の末 で看家の亡ぶるを 座観 でお家の亡ぶるを 座観 年の慰職に 酬ぬよやと

-

大和鎮中六五(金光数區內)

ね

金融即時、長期、
を融即時、長期、
を融即時、長期、
を融即時、長期、
を融印ーールでイヤ青橋際)
本電話店

剤の如く 三道並び

(第四國四第)

容易に滑走し得るもので

左へ樂に曲る事が出來すす。 ・ 佐の時、右脚スケートの ・ 水面を押す力を助長するため ・ 大面を押す力を助長するため ・ 大面を押す力を助長するため ・ 大面を押す力を助長するため ・ 大面を押す力を助長するため ・ 大面を押す力を助長するため ・ 大面を押す力を助長するため

木村玄俊

得したものにとつて及後進滑走を充分の

(三)前進及

後進滑走中左或は

右の何れ・

へ曲るには…

上から浮かせる

滑走しながら後進します。 第三岡即ち左右片足宛交互に

八二五 水上母艦「千歳」進水式實況=吳海軍工廠船渠 より中繼 より中繼 より中繼 「千歳」進 大〇五 日曜動行 (東京)

琵琶

彰義隊

新京より 後九。三 ンドン交響管

祿郎

10,00 北瀬の

旭鷹

電話(3)四五四五 屋部(3)四五四五 屋

H

タイペッ商會電(3)六六八八 タイペッ商會電(3)六六八八 大黒屋電話(3) 二五四八番 機原洋行電(3) 二五四八番 機原洋行電(3) 二五四八番 が出東二條通 大黒屋電話(3) 二五四八番 大黒屋電話(3) 二五四八番 大黒屋電話(3) 二五四八番 大黒屋電話(3) 二五四八番

株り襲りたし御希望の方は 大り襲りたし御希望の方は 電3三二匹五出塚洋行へ 電3三二匹五出塚洋行へ 第1月 後、新京入船町三ヶ朝にコーチ致します 切にコーチ致します 切にコーチ致します 現代の方には親

新京盛業町1丁目 新京盛業町1丁目 第所

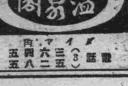
あんま

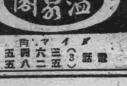
新京三笠町一丁目新京三笠町一丁目 一陽堂寮院

和たしれたしまるイヤ海一條橋際女子専門女子専門

是3五九五二







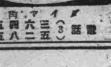






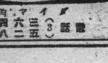












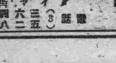








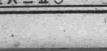












「私の今度の役目は辛い役目 だつたのだ。何も踏公を職す だったのだ。何も踏公を職す だか私に除計に出させやうと が都合の良い事でもあるのか 所が都合の良い事でもあるのか 一體どんな考へなのか腑に著 であるんだらうと思ふが それから口を統領の耳跡に持 であるんだらうと思ふが であるんだらうと思ふが

何 この時、胡統領は来面それを と 開き、魏竹岡に三萬の金を送 方 ることを承知し、一切の處置 か を頼んだのだつた。それには か と言つた。が莊は周から顧 いと言つた。が莊は周から顧 まれたのである。それでやは まれたのである。それでやは まれたのである。それでやは まれたのである。それでやは まれたのである。

しかも病無がよくなつたといふので、周が行くと統領は言つたものである。 「あの金だがね、私の手許には今無いし、ひとつ君は外でも変際が廣いんだから三萬だけ都合して来て貰ひたいな、あとで私が任官したら元金利 あとで私が任官したら元金利

(214)

し、だんく笑ひ顔になつて 来て、はては高麗に言つた。 「その事はまあ何としても君 の面子を立てることにしやう 若し別人だつたら私は決して 承知はせんのだが」 そこで莊は改めて禮を言ひ そこで莊は改めて禮を言ひ

を運ばない。周はいらだつ 管を運ばない。周はいらだつ かつた。そして統領が周を避って、つて、つひには病氣と稱して である。

で、暫らく向ふに譲つて置いて、暫らく向ふに譲つて置いて、暫らく向ふに譲つて置いてその後の手段を立てるとした。 船に歸つたのだが、怒氣は仲 をの通りだつた。こんな人間 に向つては張硬にやるより外 ないんだ。所で金の事は黄仲 ないんだ。所で金の事は黄仲

であらうか。そう言へば、地の鳥とは全々種類が違いの、親島が子鳥への、ははい、親島が子鳥への、まはいの、まはいの、まないの、ないの、ないの、ないのの、というない。

本紙一ヶ月購讀券

るために、

原稿は全て『新京永樂町四原稿は全て『新京日日新聞社 編 輯 一切無効、封筒表皮及び葉一切無効、封筒表皮及び葉 一切無効、対筒表皮及び葉

志らが洗・赤生流

配達迅

速

相紙は官製ハガキ (二名)……」 人(三名)……」

登付す

1、創作(小説、戲曲)四百字語原稿用紙二十五枚

川俳短詩創柳句歌:作

· 本社編輯局局

氏氏氏氏人

種目(賞金)

三等 (三名) … 同 一 圓

B 選

るものは一切探らす) (郵税不足その他規定に反す

一等(一篇)…賞金二十個二等(二篇)… 同 各十圓

用紙は官製ハガキ、一人三 句以内 (二名)…… 同三 順 人 (三名) …… 同三 順

本年十二月十五日 (c) 編切期

ものは受付く)

明烏夢泡雪

どんな意味かわからないが 島といふ馬鹿鳥に、といふ言 たつて居るらしい鳥を見ると 此の頭をうたつてやつた。 蓮が河白くて、雪の朝など、 変が河白くて、雪の朝など、 変が河白くて、雪の朝など、 をの雪の上を歩いて、咀をあ さつて居るらしい鳥を見ると 此の頭をうたつてやつた。 建築場の足場丸太の上に、一 本毎に鶴がとまつて居たのを 見て、鳥の多いのに驚いた。 り見て、鳥の多いのに驚いた。 建築場の足場丸太の上に、一 本毎に鶴がとまつて居たのを 見て、さの代り鳥が か少くなつた様な氣がする。こ といる言

短日の風呂沸きかねて焚き急

ぐ床の窓にも早き日暮かな げんげ

五東延吉への競で最も注目さるべき をのは、 をのは、 のは、 のがある、 をのでや、 のがあるためのはで最も注目さるできるための。 のでで、 のでで、 ののでで、 のので、 ののでで、 のので、 ののでで、 のので、 のので、

豊楽路モンテ

ルロ降

電三二三二〇

新年文藝懸賞募集

諸君自信の佳品を掲げ、満洲文藝界の健在と逞ましき生り新年文藝を募集することとなった、清新、意力溢る」る門出を祝し併せて本紙の榮譽を飾るべくひろく諸君よがねてより王道文化の藝術的使命に邁進しつつある本社かねてより王道文化の藝術的使命に邁進しつつある本社

本演洲に於ける商工年鑑 本演洲に於ける商工年鑑 本演洲に於ける商工年鑑 本方の開展。 本方の一旦現在の明 のの概念。 本方の開展。 本方の一旦現在の明 ののでする。 を数ででする。 を数ででする。 ののでする。 を数ででする。 を数ででする。 ののである。 本方の開展。 を数ででする。 ののでする。 を数ででする。 ののでする。 ののでする。 ののでする。 を数ででする。 ののでする。 の

文に調り スリスリ

角街埠近路宗豊 八介──·五八二─(二)電

九八一三(3)電 色町士富

東京市京橋區京橋二丁目

他印染各種、ノ

印入 大和通六四稻荷神社西 電話(三四六七番 二器店

東鮮 峰長春堂 電話三—三四九—番 電話三—三四九—番 電話三—三四九—番

· 營旗調

き烟管が…

ねえ玉ちや ん…其齒ス

んど

お先 なけ お

先き烟草

825

瓦

ガソリ

モカで磨い

比

今やシーズンの波に乗って自熱的賣れ 見せるイーストマンの新鋭。3 ミリ型カメラ界の人氣を浚ふ

レチナの断然たる流行は精巧無比の機 械と他に求め得られない値段とにあり ます

500分の1 迄効くコムパーラピッド。光學的 ファインダー齣數指示計等を有し操作は簡 易クセナーF3.5 及テツサーF3.5 附の二種

> 各寫眞材料店にて販賣 大連市山縣通一八一 (義 昌 洋 行) イーストマンコダツク會社



:



懸賞童謠一等當選作 攀天 金 愛 子

販實 賣 中驗 店支 哈爾濱埠頭區買賣街二 泰天千代田通三四

三中

井百貨店

越毛百百

貨貨

店店店

幾久屋百貨

絕對安全

熱量强大

「本器はガツリンより自働的に瓦斯 一様原に自好適であります、一様原であります、そして圏火消火火力 一様原に自好適であります。 一様原に自好適であります。 一様原に自好適であります。 一様原に自好適であります。 一様原に自好適であります。 一様のの生活様式に最も資合せる新 等等にも好適であります。 一がは 一様のの生活様式に最も 一がよりも 一様のの生活様式に最も 一がた。 一様のの生活様式に最も 一がよりも 一様のの生活様式に最も 一がよりも 一様のの生活様式に最も 一がよりも

で運びが自由で頗る至い等の手数なく通纜燃料等の手数なく通纜燃

七一二四五一 四日丁三町曙京希 八六六二(三)話章 B

生產

設

の

I

品一

下天

な

ぜ

歷

日本橋通六十三番地

洋室の設備あり

*浴室

電話變生

電話〇三七四八番

屋

江戸ツ子藝妓の御もて 川瀬河なお座敷と なしどうぞ御贔負に

大經路民政部前

電宝三八五〇(正金銀戸構)

フランスホテル 電話(3)五二四八番 永中明グ月 白 岡央治ュ 佳 製製製館 東集業社冠

約

店

米こ

炭

整是布沒資元

調 辨 所

疾

ŀ

ラ

水

L

專門藥

外科性病

順天医院

諄院

随時 電3·五七九五番地

電3・三六七と(病室) 電3・三六七と(病室) 院職時上小橋茂穂 院職時上小橋茂穂

院 意 電3 • 五二四三

番二

印刷

電 三 新京永

公元.

速に致します 受個にても配達は迅

亞

藥房

雷

(3) 六五二二 三三六四

六六〇七

二五二六

辯護士脈光

等位

引地寅治

ラ

各號揃て居ます。

前

ルレス・ヘロイン中毒治療新薬木 別 越 荷 物 壁 海 運 輸

井本運送店支店

NO NOT THE WAY OF THE PARTY OF

₩デアスターゼ類と全く 共趣を異にせる萬能消化素

콁化不真の防止、及之に因す --食物の消化を助け、 食慾を増進し、榮養を増 す目的に比類なる效果 と登掛す

說明書進墨

10 B 粉末を健療 各福

三共株式會社

SANKYD # **********

電3日1

奥様方の温音
安公石炭を賣始めました
是非一度御試し下さい
一是非一度御試し下さい
一人一方の温音
「四人六九番」
「一石炭公司

諸書類作成日滿鮮通譯 辯護士黑田實法律事務所 電話(3)五四四九本橋通より東入約一京朝日通三十三番 滿洲國商標登錄

日滿民刑事訴託顧問及鑑定貸家貨地管理 京朝日通五九 五九日番

レントゲン設備

中央通西公園前

植医院

新京興安大路二一五 新京興安大路二一五 九九八番

K-23

Ŀ

院長醫學士

上山源六

外一般

完備

小兒科專門

SANGUAN SANGUA 電話石炭部3二〇三二•五三八八

科

取 各國羅紗洋服附屬品式 新京日本橋通三五 加藤洋行第支店 加藤洋行第支店 加藤洋行第支店 加藤洋行第支店

性皮內

科科科

淺井醫院

婦產

科科

人

病

恋麗

電 2 三九五一番 足政部より開一丁目

第12条目的六一六 無理領トノ交叉監) 東で領トノ交叉監)

目品扱取

N 科·性 w 科·併設

新京永樂町二丁目 電3 •三九三七至 高田醫院 留神居

內花產 柳婦 病人 科科科 電3・三九○二番 職 編 病院東門前 完房產備室室

婚人科 [房宝R版]

產性內 婦病 科科科 畑 聖畑

P

差一一一 婦人科 能長 河野五百里 (紅念八會堂前) • 物療科

内科•小兒科•雀科

長 【入院)対象・往診断器】 新京神戦ノスが前 カニョイ 電3・六二四一番 覧春 兒科 醫院 徳丸スガ

暦 院・産 婆・・・ 松元千代 診園意 電3・五七○九番 入院往 電3・五七○九番 肥後医院 小內小花爺 兒 外病人 科科科科 女器 院長 肥後弘子

入院應需電る二六〇六 市橋貞三

(日赤教祭所)

内 見料 新原温野町フル 第3・五九一番 電3・五九一番 月下騰院所築中 月下騰院所築中

答縣

知識眼科

掘

医院

科專門 【入院閱意】

科科

【入於随意】

胃腸病科呼吸器科

電3.六六四六番 新京大和通り

電3・三一八〇番

電2 • 四八六九番 新京崇 8 一〇八

都院 本院 前京徳光光 本院 前京徳光光 東京福度町 五七本番 電33・二七大四番 專各

太黒医院

花柳病科●內科

小兒科專門

電3 • 四七四乙番

痔內一 疾職般 性外外 病科科 大森區院

作品 女野 柴 川 すぎ 電3・五三九七番 康德医 古野

習料

病病 科科

楽堂医院

豐榮路公設市場入口 軍 2 • 三二九七番

安護院

電3・四二五五番電3・四二五五番

高 病 内 科 科 科

內科

婦 人 科

產

電 2 - 三天〇七番 新京興安大路四一九 松震院 電3・三七五六番 H 本

烟 都若名 医院 某 内

回調査に見る兒童向學熱 叉試験地獄豫想さる

商業生徒へ除雪作業 電で出七、二十八兩日は各線とも無航し 電のて除雪作業を行つたが、まだ飛行機 を取って許明の大が、まだ飛行機 で出れ、二十八兩日は各線とも無航し

まだ飛行機の着雛不能

戰跡記念碑設計圖案

當選者決定發表

神 切日 康徳四年一月五日正午 場 所 薪京、奉天料 目 身體檢查、口頭試問、作文、讀書、料 目 身體檢查、口頭試問、作文、讀書、代數、幾何、常識 他 應募者=ハ郵券二銭同封本局庶務科 他 應募者=ハ郵券二銭同封本局庶務科 他 應募者=ハ郵券二銭同封本局度務科 で申込・火等受験必要所定用紙・共 二計細ナル「募集要綱」送附ス

航空全線缺航

和京航空會 日夜來の積

でも文子さんは異負の取調べ を離れた文子さんとは數々の 感慨に胸一ばいらしく、それ

答をした上内地出奔の事情や 将來の抱負について種々語つ

職身 養格 B人へ中等學校至 職員見習生募集

に上級學校入學受驗希望兒童 の概數を補鐵本社へ第一回報 皆しなければならぬので各擔 皆しなければならぬので各擔 でそれる人希望を取り纒め 不足よると室町、由 であるが右によると室町、由 男女總數(尋常、高さ木の六箇小學校を三三

ジ氏手術を受け

藤博士は喜ばしい太鼓判を押して立つことも出來る」と後

保煙防 止座談會

あす中銀で開催

る、なほ招待者の氏名は左の

被招待者の全員出席要望

先づ煙突の煤煙から防止!



復活確實

色刷年賀電報

新春お目見得

種類でその内一等は日語用は等より三等までを採用した三

村産輸送の爲

初年の喜びを相手にてつとり

京濱線三貨物

本格的出廻りとこもに関通)總局でけ北隣特

----日満兩樣の嶄新な意匠 三倍十萬通を用意し内地よりの三萬通に對し今年はその約の三萬通に對し今年はその約の三萬通に對し今年はその約

催し多大の成果を收めて廿七 たる全國中等學校長會議を開 で教部においては三日間にわ 全國學務科長會議

到着はこの月末頃の確定だ

プキン君 (三七) は愛人倭女 地を追放された白系露人チャ カリンウイッチ・シチェ フ・フリンウイッチ・シチェ 類然大連へ 倭文子さん

馬車は新駐車場から

の。頭痛、解消

その中から優秀作として一一感じるとは同課の自慢話、は部内から圖案を懸賞募集」こそ何かそこに有難いもの

内苦心の作であるだけに今日

が最初の試みとしての

ビューロー裏新設駐車場に引 ロの糖とされてゐた驛前馬的に和泉町通りに駐車して客 歴代驛長、歴代警察保安主的に和泉町通りに駐車して客 歴代驛長、歴代警察保安主

整然ごした驛前廣場の交通

朝鮮に於ける有力事業家朝鮮 変を終へ間島を經廿六日夜來 変を終へ間島を經廿六日夜來 変を終へ間島を經廿六日夜來 の所日間東軍、党会 が、大島秘書を帶局北鮮の酒 **社長來京** 野口朝鮮窒素 るに相應しい色刷の は海水を相手にしつ は海水を相手にしつ 司總務科長が出席の筈である 三笠校學藝會

三等小學校では三十日午前九 章師、劇等の學藝會を開供、 可憐な見童の美事な出來榮へ を多數父兄の骸罰に供するが 同十一時三十分からは父兄漁 三十日開催

の警戒から云つてもバッチは に女は衛生 を数を から云つて

類がやないでせぶか」と思案 類で塚本博士に奪ねた▼塚本 ▼隣りの羽生博士は「その勘 質に支那服は滿點だよ」と言 つてほめるので 或る 奥さん

自慢門二十二十

日本村通り

週年謝風

牛賀狀の激増見越し **化大な臨時**雇ひ 新裝の切手、 スタムプも到着

具長となつて各方面の埋事長今村参謀副長が

り發表された 本職跡記念碑 A 機懸賞設計入 一等大連復富久町二百二十 一等大連復富久町二百二十 一等大連復富久町二百二十 一路前京興安大路三三五第 一路前京興安大路三三五第 一路前京興安大路三三五第 一路前京興安大路三三五第

康德

く當選者ならびに當選びへ審査に當つた結果

紫霞に二百九十五案應募たところ締切りまでに應

張り切った郵便局員

Δ

H

躍日

は宣傳

0

朝日通り

西七馬路五

力

ルシュー

ム饅頭

K

五個

四、師範學校卒業生の配置統制に關する存制に關する存制に關する存型上現在特に工業を表する事項で、學校教育行政と現在特に、

一、、學校教育行政の實际 等につき充分なる意見の交換 の良策 の良策

原田組移轉合名會社原田銀新京出張所は大同大街原田銀新京出張所は大同大街原田銀新京出張所は大同大街原田組が高いた。 希望者は至急申込まれたいと 東五峰面一五家族的優遇 鹽滿日館 御 下宿泊

満洲でも實施される

特別慶弔電報

悲喜の彩り現し電々で發案

等 附 三笠町赤木常磐夫 人は故子息寛城氏忌明に新京 市 大 宮 か 小 三笠町赤木常磐夫 市 大 宮 京 は 市 大 宝 が 京 住 吉 町 四 月 1 日 東 京 住 吉 町 四 月 1 日 東 京 住 吉 町 四 月 1 日 東 京 住 吉 町 四 月 1 日 東 京 住 吉 町 四 月 1 日 東 京 住 吉 町 四 月 1 日 東 京 住 吉 町 四 月 1 日 東 京 に 金 一 封 を 宗 附 し た こ 笠 小 の 記 明 に 際 い た の 忌 明 に 際 い た の 忌 明 に 際 い た の 忌 明 に 際 い た の こ か 小 の こ い か ら に 金 一 封 を ご を 小 の こ い か ら で い か ら に 金 一 封 を ご を 小 の こ い か ら に 金 一 封 を ご を い か ら に か ら

宿料低廉

•製

少に抱

ず御注文次第

富泉龍達

致

(2)四九六二番



療 會 號 四 〇六五 一(2)話電

時日 年末御贈答用向各種 来る二十八日 於吉野町 主催配町 (日曜日) 念 公會堂 每日 至午後九時

報報は三人〇二

青井表具店美術

3

美滋 味養 中一年十一月二十八日 入船町四丁目十九番地 付瀬今解所とは何等關係無之候間御了承相成度爲念紙大正五年十月十二日生 大正五年十月十二日生 玉点。 語(3)二十九番地 大正二年十二月五日生 0

家 庭

希望の御方は電話へるン一六三〇香へ

問 取 應接間 (六叠) 六叠(床付) 服接間 (六叠) 六叠(床付)

四疊半

北安路三二家

家設間場 北安南胡同七一三號・北安南胡同七一三號・「康徳會館裏交通便利)
八叠、六叠、二叠
「優房(ベーチカ)等諸設備完備。

御用の方は電空三七八七番

所、 昌平胡同一一六號 取、 四疊半、六疊、玄陽 白菊町バス停留所近し

設間場

設間場 所、興恵胡同三〇一號、外交割と所、興恵胡同三〇一號、外交割と 六叠、七叠 機木小學校の中間 外交部と

小住宅貸家

日 日人一〇〇名、滿人一〇〇名 格 日人ハ中等學校卒業者若ハ之ト同等 ノ 學識ヲ有スル、二十一才以上二十 流人ハ高級中學校卒業者若ハ之ト同 等ノ 學識ヲ有スル、二十一才以上三 十才未滿ノ者

関くして立見つてまた

島渡いつて聞いて来ます」

出ていつたが、

「そん事ならいはありません、

新

して来ては臭れまいか、彼鷹におったがと云ふ館が来て居たが、どこったかられていつたと云ふ。其實

2

「お志津館に用があればこを急

でのだら」

用はないと思行すのでございます

ってはいけません、お恋津機には

こんだ事があるのでなり

「外大郎は居るか」 「外大郎は居るか」 「今しだ関った幣だが」

正さいます、アノ一附も殴々と聞

字都宮八郎は、留守民の婆さん

に戻つた」

津殿に逢はりと存じて遊々宇都宮

鉦太 燕

鄭 演

二五

急飛脚の用で直にたちました」

へ工戻るには戻りましたが、

を進めまして

どうも激しいなア、……

婆

とにする、今日は此方に種々と取って、経失め、話は眺で聞くこ

関みがあるきいて果れ

「何でございますか」

一大阪屋館吉の所へいつて開合

(禁上院)

桃

妖

魔=

额二十七百九千四第 で引っ起から他町のかへ曲らうと と、世島屋の家を辨出して、間。 と、世島屋の家を辨出して、間。 間にはお志津はどうなつて了ふかでは大選び、甲野まで本足をふむ

れていったのが定やら歴究にある のが完やら入態は孫兵衛の酷をも した。

發賣元

藤澤友吉商店

受店 大連 奉天 策區 京城

本社 大 阪

「モン(」 取形側、御師殿代」と呼かけた者がある、八郎祭は を呼かけた者がある、八郎祭は 続ぐがヒヨイと観返って見た

うなさつたのです、概下明のお

ななないので、質問と通びお恋

聞ひます、さらでないと中国がな 「サアどうぞ即一緒においでを いのですから たではないか」

一般とないの中が折合の思うでき を内でもありませうが田原屋は関 「それは日本門いけません、ご 都質で強賊の為に没はれていっ 展兵衛チト殿たぞ、お志律は



日)

『甲府の棚町ではないか』 一般所の二下町から手会が米て

(8

電

一そんな認は少しもありません 方においでになります」 ては と八郎の観光の田原屋の容景の「一覧おお津はどこに居るのだ」

博譽

小冊子あり御申越次第贈書

麻疹せきへ

す。同病は

に伴ふ咳に良し

●香味斑ీにて服養くの絶對に副作

用なくの胃臓を害する

心配なし

八四二百年分分分分

五三二十餘餘

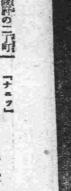
六四十

本舗

東京市神田區豐島町 東京市神田區豐島町 機響東京3.1番 機響東京3.1番

百日せきへお子機

福根を残さぬやう



今日はどうあつてもお連甲さなく がら、お連甲さなかつたら様点衛 がら、お連甲さなかつたら様点衛 「ナニッ」

定價 的效果を得且忌むべき何等副作用 的效果を得且忌むべき何等副作用な其協同作用により最も優秀なる治療 《糖衣錠にして服用容易なり 小田俊三先生「喘息の話」 五〇〇章二、〇〇

肺病咳者

作がかかりた

等、服災等に

血痰患者

人は腹は

て版用効果駆け

著語

風邪咳首

際流* に行*

作がいてき事のせき高い

切於納持

管支カタル 呼吸器疾患にもて氣管支炎 辻寬治先生 が十數年來苦辛研究 による咳嗽喀痰を伴ふ諸症 流行性感胃 の上創製せられたる氣管支鰭症の理 甲狀腺其他二三の内分泌製剤にニア ニドリンパパペリンの適量を配合し 適 應 百日咳 肋膜炎 急性慢性の氣 症



削療治新最 息喘技簡氣

辻 土博学医 授数大帝都京





全国各類店にあり

痰咳患者

り困難き慢性急性の人と咳入

龍角散の

主

効

喘息患者

解ゼイを

感じてある人々に

咳頻發者

他人と影談のできぬほどの人

標 簡 録 登 き



が傾向なる健とに

疊

0

御用は

絶對信用のできる

鵜殿兄弟商會

公學校前

電話(3)二四八二番

慢急痰せき 感 百 胃等 日電 せ 世 思想切象 き

二德煉炭

燃

大中小各種用器



科 000 7 刑京錦町三丁目七 電話呼出三一三二九六 川歯科医院隣) 院長中山 医炎 四 R合











目丁四町吉住京新 店支號東伊 番四一四五3話電

記下は女注御の炭石 ひ願御に店賣販定指 すまし致

京石 石炭 南組合

ひ致しますから今後は石炭と引換に御支排ひ下さる機御顧用ので居りますから今後は石炭と引換に御支排ひ下さる機御顧用ので居ります右代金の引換は總で馬車夫の責任になって居りますがら今後は石炭と引換に御座いまして整理上大變困を飛往々現金引換の御注文に對して御送りしました石炭

防寒靴と防寒草履 Ξ 赤笠 木町

洋

行

• 其二青金 1 重 金 他厶色印品 物 新京三 第 万 直 第 京 三 笠 町 物 ア 元 各 お正月用品豐富に取揃つて居ります 與 安 百貨店 新路二 一笠町二丁県 一笠町二丁県 O (II-II II Ξ 0